



2020.11 No4

# はたけ便り

NPO 法人みんなのプロジェクト  
福岡市早良区梅林6-23-3  
Mail: hatakenoie2020@gmail.com

## 「弱さ、を開くこと」

水野 英尚

NPO法人みんなのプロジェクトが設立され、まもなく1年になろうとしています。この間、新型コロナウイルス感染症が広がりにより、「SharedHome はたけのいえ」での青年2人の暮らしは、支援に関わる人たちを最小限にしての歩みでした。しかし、こうした事が結果として思いを共有できる「コア」な支援チームの形成に繋がったことも、私たちが「with コロナの時代」を、どう生き抜いていくのかを考えさせられる時となっています。そして、こうした取り組みが、重い障がいのある人の暮らし方の選択肢となっていくために、何をどうすれば持続可能な暮らしとなり支援体制が構築されていくのか、これからが大切な歩みとなります。

私たちは、既に来上り整えられた「モノ」をつくり、そこに「ヒト」を「預ける・預けられる」という関係性によって生活をし続けることよりも、互いが「人」と「人」であることを確認し、そこから生活が育まれていく、相互扶助の暮らし方を描いて歩み始めています。互いが支え合い、助け合うということですから、「はたけのいえ」に関わる人、すべてが当事者として「働き」を与えられているという事になります。そうした「働き」から「対価」を得ることにより、暮らしを持続させていくことが、私たちの考える理想的な暮らし方です。

来年度から、新たな2名が加わることとなりました。この場所で4人の青年たちが暮らす予定です。それぞれが、重い障がいを持ち医療的ケアが必要な彼(女)たちですが、そうした彼(女)たちだからこそ、自身が持っている「人間力」によって支援者が集められ、新たな雇用を生み出すことでしょう。そうした歩みの中から、「いのち」の鼓動を感じながら、暮らしを成立させていくことを目指すのです。今の間取りでは、4名の居室確保が困難となることから、今月から改築工事を行い、来年の1月中旬には完成予定となっ



ています。こうした出来事は、私たちに経済的な余力があって行っているではなく、それぞれが持っているものを`分かち合う、(シェアする)ことで始めようという試みです。しかし、`分かち合う、`支え合う、などと言いますと、ともすれば、高尚な博愛としての`美談、のように受け止められやすいワードですが、そのようなことではありません。私たちは`弱い、からこそ、互いに助け合わなければならぬのであり、私たちは`弱い、からこそ、互いに助け合い支え合わなければ生きていけない、そういうことです。ですから、特別なことではありません。ただ自分の弱さを開き続けることです。こうした`弱さ、のつながりが、`強さ、を誇張し互いがマウント(優位性)を取りたがるような社会の中で、小さく光り輝いていくのだと私は思います。

## 「SharedHome はたけのいえ」 介助者募集！！

～あなたの`お時間、少しだけないでしょうか？～

資格・内容等について知りたい方は、以下の連絡先迄お気軽にどうぞ！

連絡先:090-7921-7584(水野)

サポーター会員の登録ありがとうございました。

古賀 光様、吉永 篤司様、江口 陽子様、小森 泰樹様、小泉 浩子様、清田 雅子様、  
小柳 卓也様 (順不同)



ご寄贈・ご寄付を頂きまして、誠にありがとうございました。

倉光 陽大様、野口 幸弘様、小森 大樹様、松崎 淳子様 (順不同)

